

熊西校区の元気プラン

住民発！

熊西校区 小地域福祉活動第二次計画



西ふれあいサロンお花見会



平成 29 年～平成 33 年



ふれあいネットワーク

熊西校区社会福祉協議会

ごあいさつ

熊西校区では、住民みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指して、地域住民や公私の社会福祉関係者が協力して地域福祉活動を進めてきました。特に、北九州市で平成5年に開始されたふれあいネットワーク活動にも平成14年より取り組み、「自分たちの地域の福祉課題は、自分たちが解決していく」という目的の下、見守り・助け合い・話し合いの活動を中心に小地域福祉活動を進めてきました。

現在は、全国的に本格的な少子高齢化時代となり、世帯構造についても大きな変換期を迎えています。北九州市においても少子高齢化の進行、孤立死や孤独化の問題など地域の生活課題は一層の多様化を見せており、地域福祉の重要性の高まりが必要とされています。その中で行政と民間団体との役割分担と協働の指針である「北九州市の地域福祉2011－2020」（北九州市地域福祉計画）が行政により策定され、また行政計画と協働しながら北九州市社会福祉協議会が中心となって、地域社会の福祉課題を解決するため「住民ふくしの元気プラン2016～2020」（北九州市地域福祉活動第五次計画）が策定されたところです。

熊西校区においても地域ブロックの特性化、顕在化という新しい課題が生まれてきており、今後地域福祉活動を進めていくためには、地域福祉を担う各種団体がもう一度地域の福祉課題を共有し、課題解決に向けて話し合い、協働を生み出していく協議の場が求められています。そこで、北九州市の地域福祉活動計画と整合性を持ちつつ、住民主導により地域福祉活動計画を進めるため、第二次小地域福祉活動計画を策定しました。

この計画の策定にあたりご尽力いただきました本計画策定委員会委員並びにご意見をお寄せいただきました関係者の皆様に、感謝を申し上げます、ご挨拶といたします。

熊西校区社会福祉協議会
会長 遠藤 一吉



もくじ

ごあいさつ	… 1 p
第1章 第二次計画策定にあたって… 2 p	
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 熊西校区の現状と課題… 3 p	
1 地域社会の動向	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系 … 4 p	
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進 … 7 p	
1 計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第三次計画の策定	
参考資料 … 8 p	
1 策定委員会名簿	
2 策定委員会での協議事項	



第1章 第二次計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、熊西校区でこれから想定される様々な福祉課題を解決するために、住民の理解を得ながら活動団体が将来の見通しを持って計画的に活動するための行動計画です。

(2) 小地域の生活を充実させる計画

この計画は、熊西校区に住む人たちの「生活」を充実させることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡西区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡西区社会福祉協議会の計画と協働しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 熊西校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 第二次計画の期間

平成29年度～平成33年度までの5ヵ年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

熊西校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、熊西校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。平成28年8月26日に立ち上げた同委員会において、12名の委員により、3回に及ぶ協議の上、第二次熊西校区小地域福祉活動計画を策定しました。(参考資料を参照)



第2章 熊西校区の現状と課題

1 地域社会の動向

熊西校区データ

人 口	8,162 人	小 学 校	熊西小学校
世 帯 数	3,816 世帯	中 学 校	熊西・引野中学校
高 齢 化 率	21.9%	公民館・市民センター	熊西市民センター
独居高齢者世帯	600 世帯	地域包括支援センター	八幡西 3
熊西校区社協の 構成地域	岸の浦二丁目、東曲里町、西曲里町、東王子町、西王子町、南王子町、 幸神一丁目、幸神四丁目、小鷺田町、茶売町、青山三丁目		
その他社会資源等	八幡西警察署、黒崎ひびしんホール、八幡西図書館、八幡西郵便局、 正和なみき病院、望月胃腸クリニック、青山歯科クリニック、 やまだ歯科クリニック、三箇歯科クリニック、治蓮整骨院、ほねつぎ、 デイサービス生活 CAN 黒崎、南王子さくら館、クレアール黒崎、 ラ・フォンテーヌ、ホテルクラウンパレス北九州、ダイキ黒崎店、 イオンタウン黒崎 SC、ハローデイ黒崎店、エディオン黒崎店、 ダイレックス黒崎店、西王子公園、皇后崎公園、南王子公園、 小鷺田公園、田良原公園、曲里松並木公園		

熊西校区は、黒崎中心市街地の南西部に位置し、警察署・ひびしんホール等の公共施設を抱え、落ち着いた住宅地で構成される地域です。校区内には生活の基本となる学校・医療機関や商業施設等が充実しています。一方で先行開発された地域での高齢化進行は避けられず、生活環境の再ニーズがクローズアップしてきています。

2 地域の福祉課題(及び小地域福祉活動の課題)

第一次小地域福祉活動計画で具体化した、高齢世帯対象の「困りごとお手伝い」及び高齢者の居場所づくり「ミニサロン」が定着し、効果が出ています。今後の地域課題は、安全で安心な生活の為の環境確保が重要と判断し、色々な視点から基本目標を設定、具体化に取り組みます。



第3章 計画体系

1 基本理念「挨拶が飛び交うまち熊西」

熊西校区では、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。そのためには、地域の誰もが明るい挨拶を交せる関係が構築されていることが重要であると考え、「挨拶が飛び交うまち熊西」を計画の基本理念として、計画を推進していきます。

2 基本目標

(1) 福祉の輪を広げよう

福祉活動の広報啓発や子どもたちとのかかわりを通じて、地域に福祉の輪を広げます。

(2) 住民同士の交流を充実させよう

地域交流の場所であるサロンの設置・活動やイベントを企画し、住民間のつながりを強めていきます。

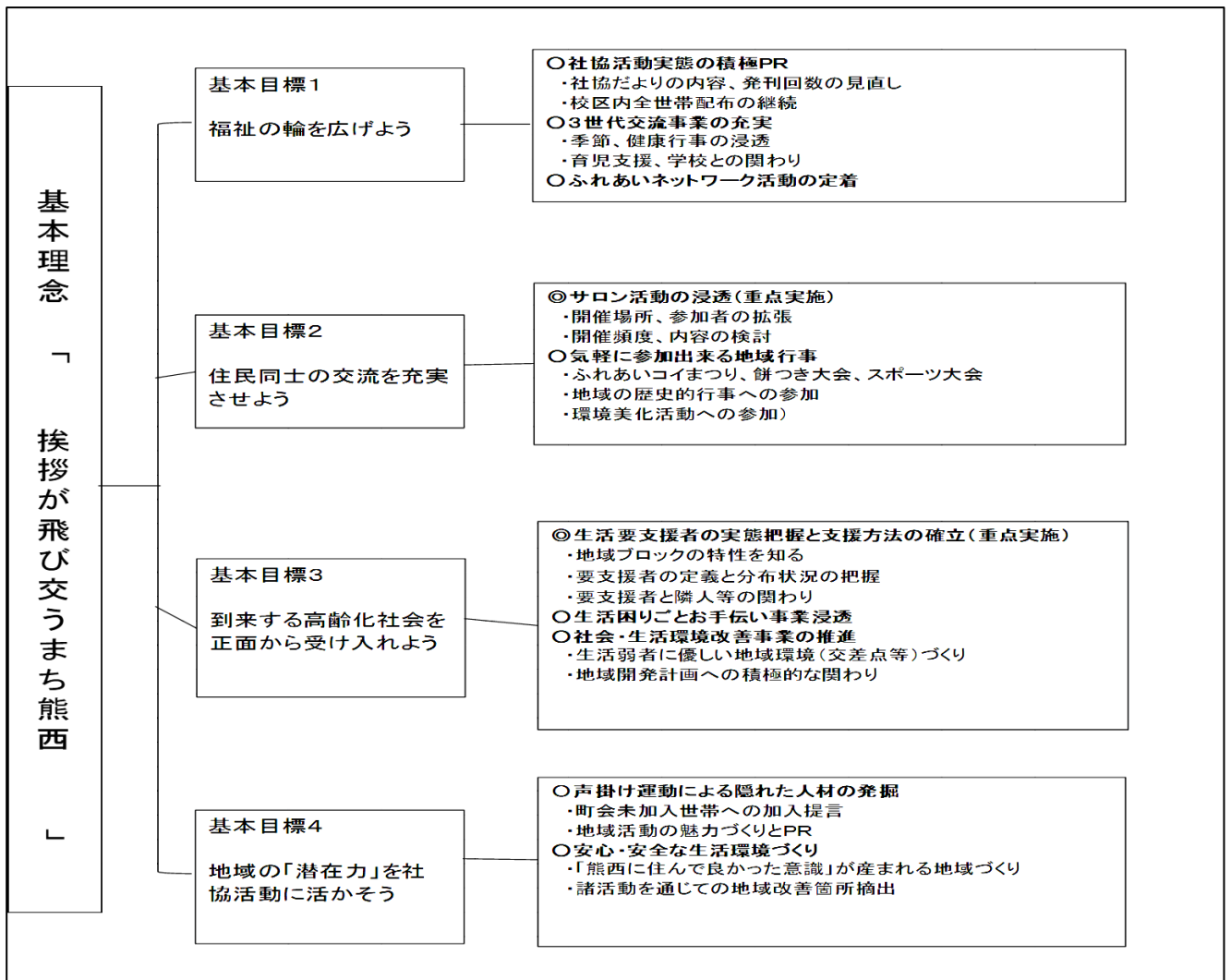
(3) 到来する高齢化社会を正面から受け入れよう

生活困窮者の把握や支援を行うことで地域力を高め、到来する高齢化社会に備えます。

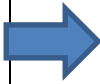
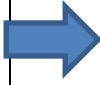






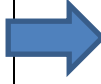
(4) 地域の「潜在力」を社協活動に活かそう

活動者の発掘や育成、活動財源の安定的な確保に向けた活動を推進し、地域の社協活動に活かします。







3 実施項目（体系図）



4 重点実施項目

重点実施目標	サロン活動の浸透						
1 課題背景及び現状							
<p>・熊西校区は地理的にアップ・ダウンの厳しい地域である。また校区内に幹線道路が走っており、地域活動の拠点である市民センターへの参集・利用は、高齢者には困難な状況である。従って、移動距離が少なく、参集・利用できる「ミニサロン」の設置が、高齢者の居場所作りには格好である。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>・第一次計画で先行設置した「ミニサロン」は、地域の参加者から好評を得ているので、設置場所を増やして、高齢者の引きこもり・孤独感を解消する事業へ推進する。</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	H29	H30	H31	H32	H33	5年後の達成目標
運営中の「ミニサロン」の推進	自治区会 民児協	分析 					運営の主体性を地域に移譲し、社協は後方支援を行う。
「ミニサロン」開設場所の増設	自治区会	試行 	実績 検討 		定着 		校区の南地区での開催。
「ミニサロン」参加者の拡張	自治区会 ボランティア		チラシ・声かけ 				参加者の「ロコミ」、「耳コミ」による拡張。
福祉施設での「ミニサロン」開設	ボランティア 福祉施設		打診 協議 		実施 		福祉施設とのタイアップ事業化。
活動点検・評価	自治区会 民児協 ボランティア			点検 		評価 	中間点検及び評価の結果を次期計画に反映。



重点実施目標	生活要支援者の実態把握と支援方法の確立						
1 課題背景及び現状							
<p>・最近各地で発生し、甚大な被害をもたらしている自然災害に対し、最小限の被害に抑えるためには、発災直後に対応できる防災体制は勿論、地域住民の実態把握が急務である。特に生活要支援者については、情報を地域で共有化し、いち早く救助の方法が確立できる基盤整備を図る必要がある。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>・校区内は様々な生活環境で構成されており、災害発生時には地域特有の被害状況が想定される。地形の問題・住宅事情・世帯情報等を基礎データとした、校区内の災害対応の具体化が求められる環境にある。</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	H29	H30	H31	H32	H33	5年後の達成目標
緊急時を想定した自然災害の内容	自治区会 民児協 ボランティア	調査・協議					自然災害の具体例リストの作成
要支援者情報	自治区会 民児協 ボランティア	情報収集		定義		リスト作成	定義された情報に基づく要支援者リスト
地域ブロックの特性把握	自治区会 民児協						地域ブロックの特性を明確化
要支援者分布図の編集	民児協 ボランティア					分布用編集	要支援者データに基づく分布図を編集
要支援者フォロー体制の整備	自治区会 民児協 ボランティア			情報共有		フォローリスト作成	要支援者フォローカード整備
活動点検・評価	自治区会 民児協					点検評価	編纂資料をベースに活動を評価。自然災害発生時対応の基礎資料に



第4章 第二次計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

- (1) 校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- (2) 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- (3) 計画書概要版の配布等を通じた校区住民への周知等、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

- (1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

熊西校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施等について、委員会では協議を進めていきます。

- (2) 計画の進行管理

熊西校区小地域福祉活動計画推進委員会を年3回程度開催します(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、その他必要に応じて開催)。委員会ではPLAN(計画立案) DO(実行) CHECK(点検・評価) ACT(改善)というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、上手く進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

3 第三次計画の策定

第二次計画の推進状況を踏まえて、第三次計画の策定期間(計画第4～5カ年度)には新しく第三次計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。

熊西校区小地域福祉活動計画推進委員会委員名簿

	委員会役職	氏名	所属団体
1	委員長	小浦 國昭	黒崎第11自治区会副会長
2	委員長補佐	遠藤 一吉	熊西校区社会福祉協議会会長
3	委員長補佐	田中 信一郎	幸神保育園園長
4	事務局	中禮 弘幸	熊西校区社会福祉協議会事務局長
5	委員	下村 武	熊西地区民生委員児童委員協議会
6	委員	遠藤 由紀恵	熊西地区民生委員児童委員協議会
7	委員	小樋 郷子	熊西地区民生委員児童委員協議会
8	委員	川崎 恵美	熊西地区民生委員児童委員協議会
9	委員	三木 俊雄	熊西地区民生委員児童委員協議会
10	委員	白石 義隆	熊西地区民生委員児童委員協議会
11	委員	中野 智仁	熊西地区民生委員児童委員協議会
12	委員	太田 まゆり	熊西地区民生委員児童委員協議会
13	委員	武田 悦子	東曲里町会
14	委員	塚原 正吉	西王子公園通り町会
15	委員	藤本 千代子	青山第2町会
16	委員	小田 カズミ	エクレール青山町会
17	委員	中野 秋子	青山三丁目町会



参考資料【熊西校区小地域福祉活動第二次計画の策定経過】

1 熊西校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	委員会役職	氏 名	所属団体
1	委員長	小浦 國昭	黒崎第11自治区会副区会長
2	委員長補佐	遠藤 一吉	青山・王子自治区会会長
3	委員長補佐	三木 俊雄	熊西地区民生委員児童委員協議会
4	事務局	中禮 弘幸	市民防災会事務局長
5	委員	下村 武	熊西地区民生委員児童委員協議会
6	委員	遠藤 由紀恵	熊西地区民生委員児童委員協議会
7	委員	小樋 郷子	熊西地区民生委員児童委員協議会
8	委員	川崎 恵美	熊西地区民生委員児童委員協議会
9	委員	武田 悦子	東曲里町会
10	委員	藤本 千代子	青山第2町会
11	委員	小田 カズミ	エクレール青山町会
12	委員	中野 秋子	青山三丁目町会

2 熊西校区小地域福祉活動計画策定委員会での主な協議事項

【第二次計画推進経過】

回	開催日	主な協議事項
1	平成28年7月8日	1 ふくしプランニング工房参加
2	平成28年8月26日	1 策定委員会委員の選任について
3	平成28年10月28日	1 第二次計画策定について（協議）
4	平成28年11月25日	1 第二次計画の見直しについて
5	平成29年4月1日	1 第二次計画（5ヵ年計画）実施



★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』 (Petit vo saurus)

Petit (プチ : ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス ≡ 恐竜)

熊西校区社会福祉協議会

〒806-0055 北九州市八幡西区幸神 4-3-1 (熊西市民センター内)

TEL:093-621-3282 FAX:093-621-3283

HP:<http://www.kitaq-shakyo.or.jp/yahatanishi/kumanishi/>

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3 丁目 15-3 (コムシティ内)

TEL:093-642-5035 FAX:093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号 (ウェルとばた 8階)

(代 表) TEL:093-882-4401 FAX:093-882-3579

(地域福祉部) TEL:093-873-1296 FAX:093-873-1351